

賛否うずまく新祝日

170F

2月11日は初の「建国記念の日」。東京は数年来の大雪、それでも新祝日を祝う奉祝大会が各所で開かれました。

一方、反対派も各所で抗議集会。建国のゆかりの地、奈良県橿原市では市長が神武天皇に、皇后の五十鈴姫には「ミス建国」が登場し大和時代行列がくり広げられました。

ライバルを叩け!

—中日と巨人—

433F

三連覇をめざす巨人は、主力を多摩川に集めてキャンプを開始した。王、長島らベテラン選手はマイ・ペースの調整ぶり。また、産経、広島の大投手陣に泣かされた巨人は、左に強い高倉、森永を補強し、外野手は合計13名、競争率3.4倍の激しいポジション争いが展開されている。

一方、中日は「パンチとラッシュ」で燃える野球をスローガンに「打倒巨人」をめざして、松山にキャンプをはった。巨人を倒すことが優勝につながるとあって、新人・移籍を含め、7人を補強し、総勢26人の大投手団となった。巨人のデフェンスを破るパンチ力も、主砲江藤を中心に闘志まんまん。借は必ず返すと「打倒巨人」の一点に集中する中日と、きびしいポジション争いの中で「新しい黄金時代」をめざす巨人の周辺は、早くも熱気をはらんでいる。